

航空自衛隊仕様書			
仕様書の種類	内容による分類	装備品等仕様書	
	性質による分類	個別仕様書	
物品番号		仕様書番号	
品名 又は 件名	体操服(1形)	C&LPS-D84399-7	
		大臣承認	平成 年 月 日
		作成	平成 6年10月24日
		改正	平成26年 6月18日
			平成28年 6月16日
作成部隊等名	補給本部		

## 1 総則

### 1.1 適用範囲

この仕様書は、航空自衛隊の航空教育隊、幹部候補生学校及び航空学生教育群の学生、教官及び助教が、基地備え付け被服として着用する体操服(1形)について規定する。

### 1.2 用語及び定義

この仕様書に用いる主な用語及び定義は、C&LPS-Y00007の1.2による。

### 1.3 種類・構成

種類及び構成は、表1による。

なお、調達種類及び数量は調達要領指定書による。

表1-種類及び構成

種類	物 品 番 号		
	体操服(1形)	構 成	
		上 衣	ズ ボ ン
XO	8415-426-5296-5	_____	_____
3L	8415-426-5295-5	_____	_____
LL	8415-424-5423-5	8415-424-5428-5	8415-424-5433-5
L	8415-424-5424-5	8415-424-5429-5	8415-424-5434-5
M	8415-424-5425-5	8415-424-5430-5	8415-424-5435-5
S	8415-424-5426-5	8415-424-5431-5	8415-424-5436-5
SS	8415-424-5427-5	8415-424-5432-5	8415-424-5437-5

### 1.4 製品の呼び方

製品の呼び方は、仕様書の品名及び表1の種類による。

例 体操服(1形), L

### 1.5 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、引用文書に定める内容が、この仕様書に定める内容と相違する場合は、この仕様書に定める内容が優先する。

品名	体操服（1形）
----	---------

a) 規格

JIS H 5301	亜鉛合金ダイカスト
JIS L 0842	紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法
JIS L 0844	洗濯に対する染色堅ろう度試験方法
JIS L 0848	汗に対する染色堅ろう度試験方法
JIS L 0849	摩擦に対する染色堅ろう度試験方法
JIS L 1030-1	繊維製品の混用率試験方法-第1部：繊維鑑別
JIS L 1030-2	繊維製品の混用率試験方法-第2部：繊維混用率
JIS L 1096	織物及び編物の生地試験方法
JIS S 3015	スライドファスナ
NDS Z 0001	包装の総則
NDS Z 8011	角形銘板

b) 仕様書

C&LPS-Y00007 調達品等一般共通仕様書

2 製品に関する要求

2.1 材料

材料は、表2による。

表2-材料

区分	規格	用途
生地	付表1による。	前身、後身(上衣,ズボン)袖
ファスナ	コイル M級 開き 付表2による。	上衣前身中央
	コイル L級 止め 付表2による。	ズボン裾口
ジャージ	組織 ラッセルゴム編み ポリエステル 167 dtex ポリウレタン 155 dtex	上衣裾, 袖口 ズボン裾口

品名	体操服（1形）
----	---------

表2-材料（続き）

区分	規格	用途
縫い糸	ポリエステル糸(スパン) 50/3	上糸
	ウーリーナイロン糸 122dtex/2	下糸
ゴム	平ゴム, 幅30mm (±2mm)	腰ゴム
スピンドル紐	芯なし丸紐 直径5mm (±1mm)	腰紐
トリコットメッシュ	ポリエステル 100% 白色	ポケット裏地
銘板	綿ブロード#40, 白色, 裏面樹脂加工	製品表示用

## 2.2 加工

### 2.2.1 縫製要領

#### 2.2.1.1 一般要領

一般要領は、次による。

- 針数は、2.5cm間の表面に現れた縫い目数とし、10針以上とする。
- 縫い始め及び縫い終わりは、返し縫いを完全にするものとする。
- 縫い飛び及び縫い外れがなく、縫い目曲がりが目立たないものとする。

#### 2.2.1.2 細部要領

細部要領は、表3による。

表3-細部要領

区分	縫製要領
上衣	襟、襟付け及びファスナ付け 襟と前身及び襟と見返しを本縫いとし、襟前端、前身及び見返しは、ファスナをはさみ本縫いとし、他の襟付けは、オーバーロック縫いし、二本針で押さえ縫いとする。
	前身及び袖 前身は、左右斜め切り換えを入れ、外側に紺色布をオーバーロック縫いとし、本縫いでステッチ縫いとする。袖下及び袖付けは、二本針オーバーロック縫いとし、袖口のゴム編み地付けは、ゴム編み地を二つ折りオーバーロック縫いとする。
	わき縫い及び裾ゴム編み地付け 脇縫いは、二本針オーバーロック縫いとする。裾ゴム編み地を二つ折りしオーバーロック縫いとし、二本針で押さえ縫いとする。

品名	体操服（1形）
----	---------

表3-細部要領（続き）

区分	縫製要領
上衣	<p>ポケット 前身の左右に八の字型に片玉ポケットを付けるものとする。</p> <p>刺繍 付図1に示す所定の位置に，“JASDF”の文字を金茶色で刺繍する。</p>
ズボン	前合わせ及びしり縫い 二本針オーバーロック縫いとする。
	脇縫い及びポケット付け 前身上部に斜めにポケットを付け二本オーバーロック縫いとする。ポケット口の下に紺色の三角布をオーバーロック縫いとし、本縫いでステッチとする。
	股下及び裾口 二本針オーバーロック縫いとする。裾口はゴム編地を二つ折りオーバーロック縫いした後、二本針で押さえ縫いし、外側にファスナを本縫いで縫い付けるものとする。
	上部ゴム入れ 上部は、幅3cm（±2mm）のゴムテープを入れ、折り返し二本針ミシンで押さえ縫いとし、前中央部に2EA穴かがりを行い丸紐を通すものとする。
	前センター縫い すくい縫いとする。
	ポケット袋地 向こう当布は共地、袋地はメッシュ地とする。

### 2.3 形状・寸法

形状及び寸法は、付図1及び付表3によるものとし、許容差が明示されていない場合は基準を示すものとする。

### 2.4 外観

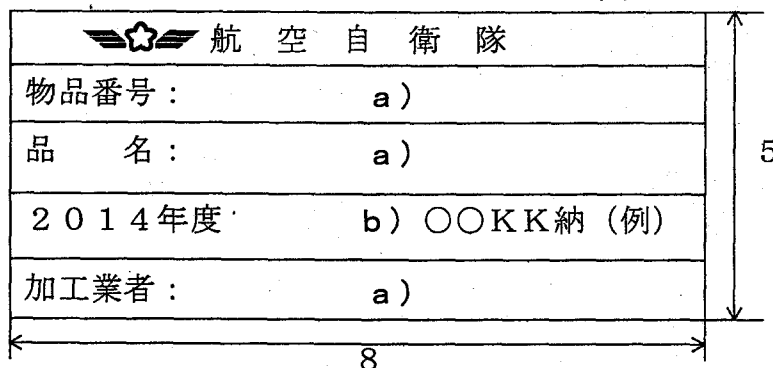
仕上がりは、きず、汚れ、その他の欠点が目立たないものとする。

### 2.5 製品の表示

#### 2.5.1 銘板

銘板は、図1に示す様式のものをも所定の位置に縫い付けるものとする。

単位 cm



注記1 銘板の枠及び記載事項は、黒でにじみ及び退色しにくいものを用いて鮮明に押印又は印刷する。

注記2 銘板の用字及び書体は、NDS Z 8011による。

注記3 許容差は±3mmとする。

注<sup>ア</sup> 該当する物品番号、品名（製品の呼び方）及び加工業者名を記入する。

注<sup>イ</sup> 該当する納入年度を記入する。

例 2014年度

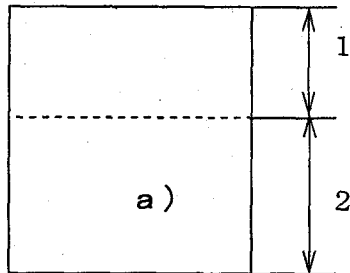
図1-銘板

品名	体操服（1形）
----	---------

### 2.5.2 種類印

種類印は、図2に示す様式に示すものを付図1に示す位置に縫い付けるものとする。

単位 cm



注記 寸法は、基準を示す。

注<sup>\*)</sup> 該当する種類を黒でにじみ及び退色しにくいものを用いて鮮明に押印又は印刷する。

図2－種類印

### 3 監督・検査

契約担当官等の定める監督及び検査実施要領に基づき実施する。

### 4 出荷条件

#### 4.1 包装

包装は、表4による。

表4－包装

区分		包装材料	包装要領
内装		ポリエチレン袋	同一種類の上下を1組とし、袋に入れ5組重ねて十字にひも掛けにする。
外装	段ボール箱	商慣習による。	内装した5袋を段ボール箱に収納する。
	包装用テープ	商慣習による。	包装用テープで上下面ともH形に封かんするものとする。

#### 4.2 端数包装

端数のある場合は、4.1に準じて行うものとする。

#### 4.3 外装の表示

外装の表示は、NDS Z 0001の表示・標識による。ただし、次の表示項目を見やすい箇所に表示するものとする。

- a) 調達要求番号
- b) 物品番号
- c) 品名
- d) 数量
- e) 納入年度 例2014年度
- f) 契約の相手方の名称又はその略号

### 5 その他の指示

#### 5.1 提出書類

契約の相手方は、C&LPS-Y00007の4.1.1に基づき、類別原資料を提出する。

#### 5.2 承認用見本

契約の相手方は、C&LPS-Y00007の4.3に基づき、製作に先立ち、承認用見本として、製品1着を契約担当官等に提出し、外観及び色について承認を得なければならない。

付表1-生地

区 分		規 定	試 験 方 法
繊維混用率 %		ポリエステル 95 綿 5 ±3	JIS L 1030-1及び JIS L 1030-2による。
原糸番手	表	ポリエステル 167dtex	JIS L 1096のA法による。
	裏	ポリエステル 167/2dtex ポリエステル・綿 45S	
組	織	プリスタ(ふくれ編み)	—————
生地幅	cm	150以上	JIS L 1096のA法による。
質量	g/m <sup>2</sup>	260以上	—————
寸法変化率 %	たて	-3以内	JIS L 1096のD法による。
	よこ		
破裂強さ	kPa	588以上	JIS L 1096のA法による。
染色堅ろう度 級	耐 光		JIS L 0842による。
	洗 濯	変退色	JIS L 0844のA-2による。
		汚 染	
	汗	変退色	JIS L 0848による。
		汚 染	
摩擦	乾 燥	JIS L 0849による。	
色		付図1の斜線は紺色、その他は紫とする。	承認見本による。

付表 2 - ファスナ

区 分	規 定		試 験 方 法
形 式	開製品 M 級	止製品 L 級	J I S S 3 0 1 5 に よる。
チェーン幅 mm	6. 5 0	4. 1 0	_____
長 さ	付表 3 による。		
テープ材質	ポリエステル		
テープ幅 mm	1 4. 0	1 1. 6	
スライダ部	オートマテックスライダ 亜鉛合金ダイカスト		J I S H 5 3 0 1 に よる。
エレメント材質	ポリエステル		_____
チェーン横引強度 N	5 8 8 以上	3 9 2 以上	
開具横引強度 N	1 1 7. 6 以上	8 8. 2 以上	
色	生地の色と同系色とする。		

付表3-寸法

単位 cm

項目 記号	上 衣										ポケット口		ポケット位置		見返し幅	そで口幅	刺繍位置		
	身丈	身幅	肩幅	そで丈	そで幅	天幅	前下り	フアスの長さ	襟幅	すそ丈	すそ幅	幅	丈	横				縦	
号数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
XO	73	70	61	64	36	23	5	74	5.5	6	6	50	1.5	16	21	10	6	10	
3L	73	66	58	62	35	22	5	74	5.5	6	6	48	1.5	16	20	10	6	10	
LL	70	62	55	60	34	21	5	70	5.5	6	6	46	1.5	16	19	9	6	9	6.5
L	66	58	51	57	32	20	5	66	5.5	6	6	42	1.5	16	18	8	6	9	
M	62	54	47	53	30	19	5	62	5.5	6	6	38	1.5	16	17	7	5	9	
S	58	50	44	50	28	18	5	58	5.5	6	6	34	1.5	16	16	6	5	9	
SS	54	46	41	47	26	17	5	54	5.5	6	6	32	1.5	16	15	5	5	9	5.5

注記1 寸法の許容差は、5 cm以上のものについては±3%、5 cm未満については±2 mmとする。  
注記2 記号の対応部位は、付図1のとおり。

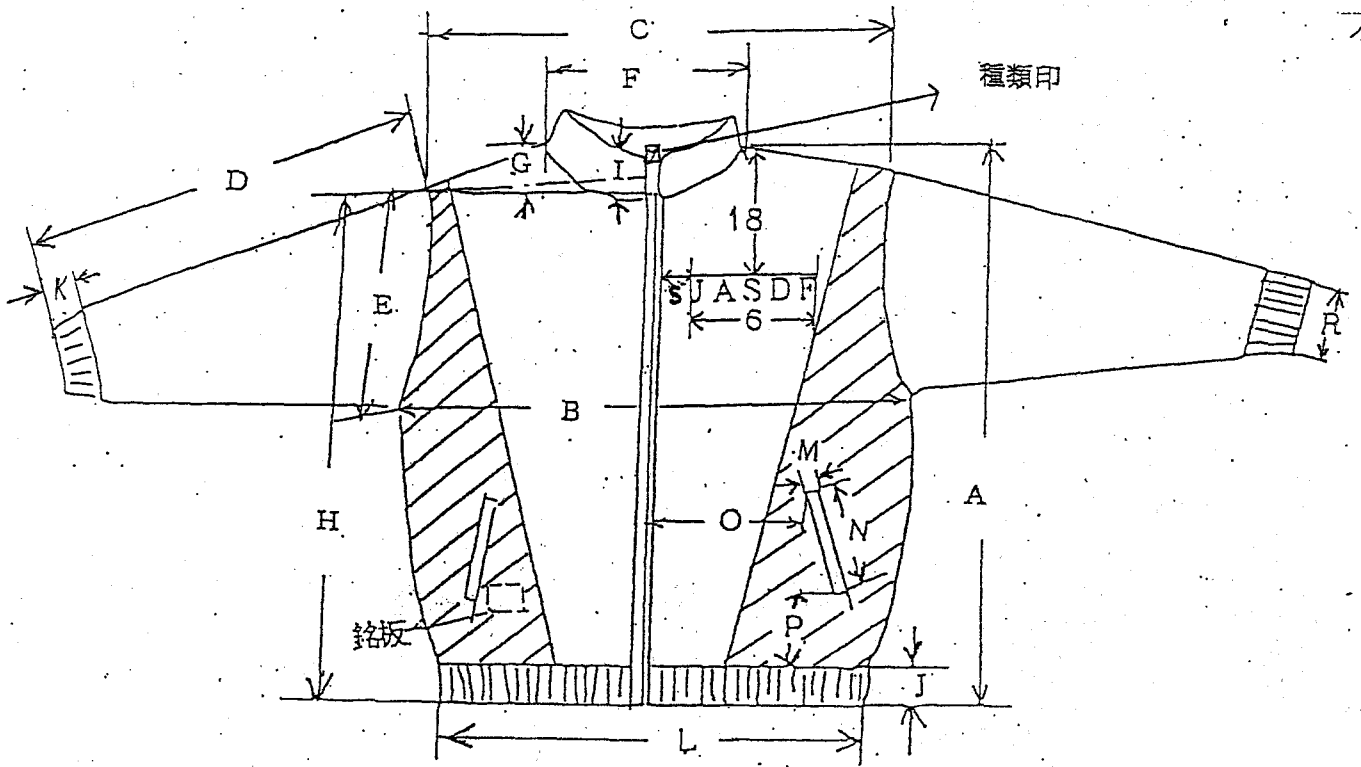
項目 記号	ズボン										ポケット	
	ズボン丈	腰囲	また上	また下	すそ丈	すそ幅	円周天	位置	口丈	位置	口丈	
号数	A	B	C	D	E	F	G	H	I			
XO	110	136	31	79	6	13	80	5.5	16			
3L	108	130	29	79	6	13	75	5.5	16			
LL	104	124	28	76	6	12	70	5.5	16			
L	98	118	26	72	6	12	64	5.5	16			
M	92	110	24	68	6	12	60	5.5	16			
S	88	104	22	66	6	12	56	5.5	16			
SS	84	100	21	63	6	12	52	5.5	16			

注記1 寸法の許容差は、5 cm以上のものについては±3%、5 cm未満については±2 mmとする。  
注記2 記号の対応部位は、付図1のとおり。



上衣

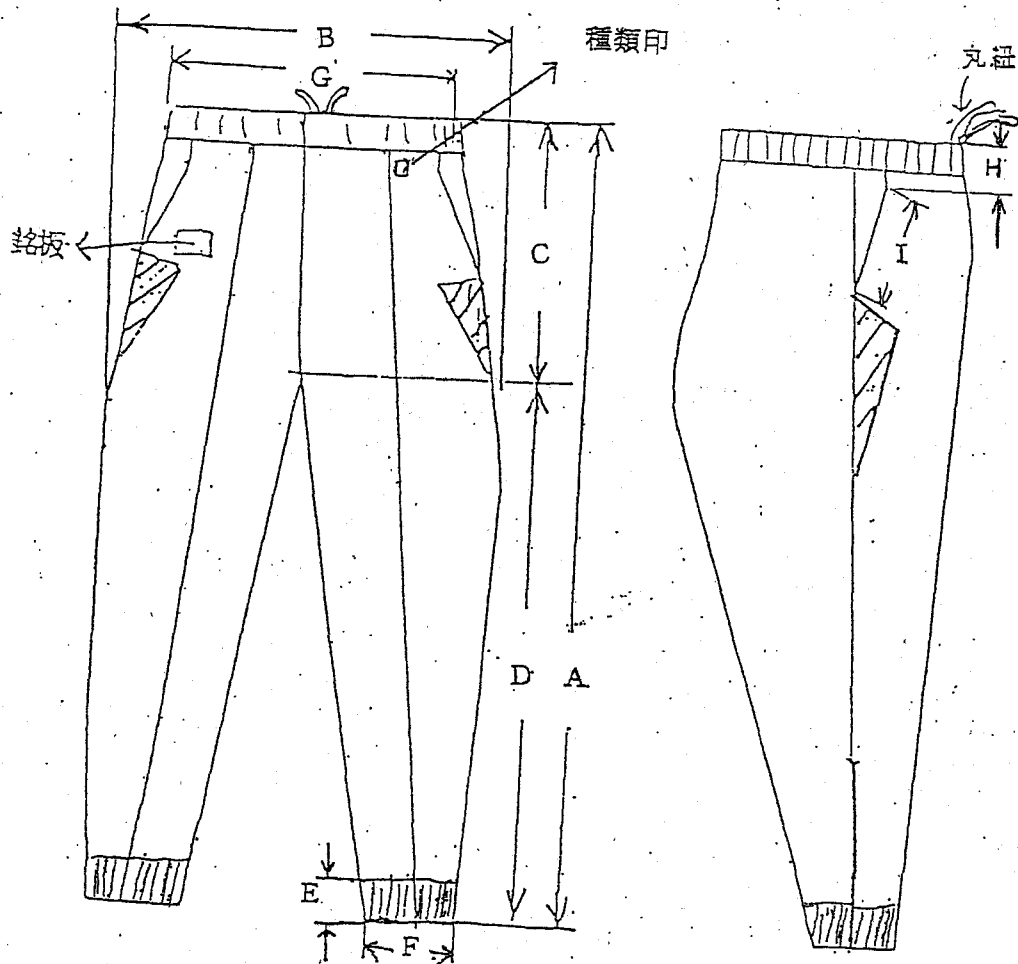
単位 cm



正面

側面

ズボン



注記 刺繍の位置は、Sサイズを基準とする。

付図1-体操服(1形)